

がんばってます 青年部！

京都青年中央会の野本会長と各青年部の部長さんとのトークコーナーです。今回は京人形商工業協同組合青年会 直前会長の今村 達人氏と新会長の中嶋 伊智郎氏にお話を伺いました。

其の三十一

京人形商工業協同組合青年会の巻



直前会長 今村 達人氏



新会長 中嶋 伊智郎氏



野本会長とがっちり握手

野本 新体制最初のかかわら版となります、宜しくお願いします。まず青年部の紹介をお願いします。

中嶋 京人形商工業協同組合青年会は、昭和44年9月に設立され、今年で37年目になります。現在の会員数は、親組合に加盟している39事業所の中から16事業所16名で、後継者もしくは事業主で構成されています。

野本 去る5月3日に西京極で開催された「端午の節句イベント」は大盛況でしたね。

今村 ありがとうございます。野本会長にもわざわざお越しいただき感謝しております。おかげさまで当日は天候にも恵まれ、とても活気のある男の子のお祭りでもある端午の節句らしいイベントになりました。このイベントは私たちの青年会が毎年行っている端午の節句啓発事業の一環として開催しており、事業のサブタイトルを「京都の街を鯉のぼりで飾ろう」としています。会場では1000本の豆鯉のぼりを来場された子供さんたちに配らせていただき、我々も当日行われた京都パープルサンガさんの試合と一緒に応援しました。試合場にも以前サンガさんに寄贈させていただいた大きな鯉のぼりを掲揚していただいておりますので、子供たちも楽しんでくれたことと思います。

野本 この事業の立ち上げの動機は何だったのですか？

中嶋 京人形商工業協同組合には端午の節句啓発事業がありませんでした。

そこで、青年会員全員で知恵を出し合い、さらに京都市教育委員会の方ともお話をさせて頂きました。結果として、鯉のぼりを通じて端午の節句に馴染みを持ってもらおうと、7年前、初めて京都市役所に鯉のぼりを寄贈させていただきました。市役所前のポールに鯉のぼりを泳がせ、皆さんに『端午の節句』を再確認してもらうことから始めたのです。それから、こどもみらい館や青少年科学センターなどの公共施設に毎年寄贈させていただいております。そして、事業も年を追う毎に拡大していき、この時期に各所でイベントを行う今の私たちになってきたのです。

野本 最後に京都青年中央会へ期待されることをお聞かせ下さい。

中嶋 私たちの業界は、基本的に『ものづくり』が中心です。いわゆる職人の世界ですから、中央会を通じた多くの人との交流によって自分たちの感性を高めていければ、と考えております。

野本 今後も皆様のご期待に沿うような事業を企画、案内させて頂きたいと思います。
中嶋新会長、今村直前会長、本日はお忙しいところ有難うございました。



3人で記念撮影

(取材:文=情報企画委員会 芳村 敦 特派員)

おたくのお仕事なにあに？

『新連携ビジネスプラン』の構築に欠かせないのが、「他の青年部はどんな仕事をしているのか?」、このコーナーでは、会員青年部の皆さんの仕事内容を紹介、会員青年部の持っている技術を紹介いたします。

京都府仏具協同組合同工部青年会

私達、京都府仏具協同組合 京都府仏具協同組合同工部青年会は、仏壇、仏具の製造に携わる若手の職人の集まりです。「仏壇、仏具の製造」と一口に言っても、仕事の内容は細分化されており、大きく木工関係と金属加工関係、そして塗装関係に分けることが出来ます。

木工関係には仏壇本体を製作する「木地師」、仏壇内部の屋根を製作する「内屋根師」、仏壇内部の台などを製作する「小卓（こじょく）師」、欄間などを彫る「木彫師」、仏を彫る「仏師」などがあります。

金属加工関係には金属部品を製作する「鋳（かざり）金具師」、金属部品に彫刻などで装飾を施す「彫金（ちょうきん）師」、花立や香炉といった鋳物の道具類を製作する「鋳造（ちゅうぞう）師」、金属の板を打ち出して鐘などを製作する「鋳起（ついき）師」などがあります。

塗装関係としては漆を塗る「塗師（ぬし）」、漆を塗った面を磨いて鏡面仕上げる「蝋色（ろういろ）師」、木彫刻の部分に天然顔料でできた泥絵具で色付けをする「彩色師」、金箔を押す「箔押し師」、金属部品に焼付けによって色をつける「色着師」、金属をメッキする「鍍金師」、蒔絵で絵を描く「蒔絵師」、螺鈿（らでん）で絵を描く「螺鈿師」などがあります。

そのほかにも、ご本尊として祀る掛軸を製作する「表具師」などもあり、「仏壇・仏具」とは、多種多様な職人の技術の結晶なのです。



左より会長 泉氏、直前会長 立石氏、副会長 八木氏

文＝会長 泉 嘉人氏

京都青年印刷人月曜会

私達、京都青年印刷人月曜会は、読んで字のごとく京都の町の印刷屋さんや印刷に関連する仕事に携わる青年有志の集まりです。今年で、創立35周年を迎えます。

その活動は、印刷に関する知識、技術向上の勉強会はもちろん、経営をはじめとする講習会、得意の親睦会、全国組織、親組合との交流会など毎月1度は例会として活動をしています。

一口に印刷と言っても幅広い分野があり、名刺1枚から始まり、チラシ、パンフレット、ポスター、美術書、出版物、小冊子、アルバム、包装紙、シール、ラベル、紙器、パッケージ、事務用品、伝票、フォーム印刷、フィルム包装紙、などなどさまざまな印刷物があります。実際に印刷して商品まで作るには多くの作業工程があり、それぞれの事業所にその得意分野を持っています。それぞれの分野に精通していることはもちろん、あらゆる印刷物に対応する知識と人脈がある有志の組織が月曜会であります。

紙は、文化のバロメーターとよく言われましたが、今は、経済のバロメーターでもあります。21世紀に入り、印刷は、デジタルIT化が急激に進み、紙媒体より、ブロードバンド化、印刷需要の変化に伴い、業態変革を余儀なくされている業界でもあります。

月曜会は、そうした印刷業革の大きな波に立ち向かう青年印刷人の集まりです。私達は、印刷物を通して、あらゆる業界に関係してお仕事をさせていただいております。

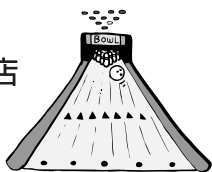
これからも、名刺1枚から、印刷物を通して、幅広い多くの業界に連携し、寄与できるように、これからも活躍して参りますので、よろしくお願い申し上げます。

文＝会長 石原 政和氏

今後の事業予定

第23回 京都市長杯争奪 ボウリング大会

- と き 平成18年7月29日(土) 17:30受付 18:00開会
- ところ ボウリング：京劇ドリームボウル
懇親会：スーパードライ京都店
- 参加費 お一人様 5,500円



北部交流会 in 舞鶴

- と き 平成18年7月1日(土)
16:30受付 17:00開会
- ところ 舞鶴港とれとれセンター
- 会 費 お一人様 4,000円(懇親会参加者)

編集後記

あっというまに今年も半分が過ぎてしまいました。早いですね。おとといの晩御飯に何を食べたかもすぐに思い出せないぐらい毎日がどんどん過ぎていきます。ともあれ6月ですし、父の日には何かプレゼントしてみたり、暑中見舞いを送ったりしてみたいかがでしょうか？あげる人ももらう人もうれしいですね。「こころ」を「かたち」に変えて「伝える」こと。それはモノづくりやモノ売りでも同じです。おとといの晩御飯は忘れても、そういった気持ちは過ぎ行く日々には飲まれないようにしたいものです。